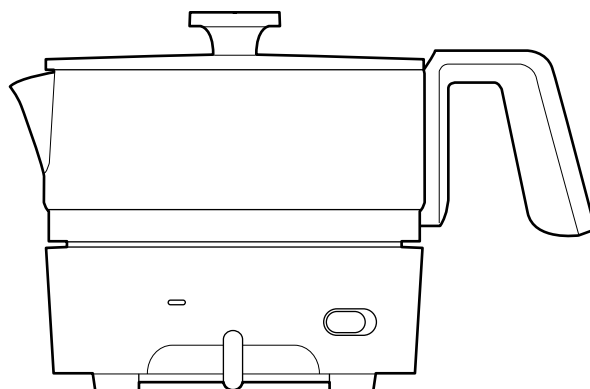


siroca

おりょうりケトル ちょいなべ

SK-M251



取扱説明書 保証書つき

このたびは、シロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	6
各部のなまえ	8
使いかた	10
お手入れ	15
よくあるご質問	16
仕様	18
部品・消耗品	18
保証とアフターサービス	19
保証書	20


安全上のご注意


— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明

 **警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや操作に不慣れなかただけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、本体や操作部に水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



接触禁止

注ぎ口に触れたり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

満水目盛(MAX 1000)以上の水や材料を入れない
お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

使用中は、無理にふたを開けない。移動させない
蒸気が噴出し、やけど・けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
 - 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
 - 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
 - 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
 - 本体が作動しない など
- 上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

調理以外の用途では使用しない
故障・やけど・けがの原因になります。



禁止

屋外で使用しない
雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

 **警告**

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない

感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

延長コードは絶対に使わない

壁のコンセントは2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使わない

熱の逃げ場がなくなって高温になり、ショート・発火の原因になります。



マグネットプラグに金属が触れないように注意する

ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など

電源コードを破損したときは、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

電源プラグに蒸気をあてない

火災・感電・発火の恐れがあります。スライド式テーブルでは、電源プラグに蒸気があたらない位置で使用してください。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



水ぬれ禁止

水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



禁止

電気カーペットの上では使わない

発煙・発火の原因になります。



禁止

沸騰中、注ぎ口に手や顔、水気に弱いものを近づけない

注ぎ口の付近は蒸気やお湯が飛び散ることがあり、けが・やけど・故障の原因になります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気や熱で、傷み・変色・変形の原因になります。



禁止

直射日光が当たるところで使用しない

変色の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上では使わない

感電・漏電・火災・変形・故障の原因になります。

使用上の注意事項



ケトル・ふた・電源コードは必ず付属のものを使用する

故障・発火の原因になります。本製品では、SK-M151/SK-M152のケトル・ふた・電源コードを使えません。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部（ヒーターやケトル周辺部）に触れない

やけどの原因になります。



禁止

取っ手にガタつきがある場合は使用しない

けがの原因になります。



禁止

ふたを持って移動しない

落下によるけが・故障の原因になります。ケトルや本体を移動する際は、冷えてからケトルの取っ手や本体の底を両手で持って移動してください。



禁止

重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない

やけど・故障の原因になります。



禁止

揚げ物・焼き物・炒め物をしない

油を入れると高温となり、破損・故障の原因になります。



禁止

空だきをしない

変形・変色・故障の原因になります。



禁止

缶詰・瓶詰をそのまま加熱しない

高温になったり、破裂したりして、破損、けが・やけどの原因になります。



禁止

市販のタイマー機器を接続して使用しない

故障の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意事項



お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。



調理量の最大量と最小量を必ず守る
やけど・けがの原因になります。



禁止

付属品を電子レンジ・オーブン・オーブンレンジなどで使用しない
破損・変形の原因になります。



ケトルと本体の間に汚れや異物が挟まれているか確認して電源を入れる
汚れや異物が挟まれたまま使うと、異常発熱し、火災・故障の原因になります。
本体の上に水や調理物をこぼした場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

金属製のへらなどは使用しない。ケトルで米を研がない。洗いおけ代わりに使用しない
ケトルに傷が付く原因になります。



ケトルと本体が水平になっていることを確認して電源を入れる
異常発熱し、火災・故障の原因になります。



禁止

ケトルを直火にかけない
変形・変色の原因になります。

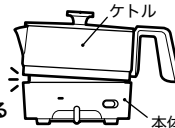


禁止

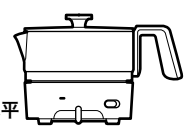
ケトルを冷凍庫に入れない
変形・変色の原因になります。



ケトルが傾いている



本体とケトルが水平



禁止

ケトルを落としたり、変形させたりしない
故障の原因になります。変形したケトルは使用しないでください。

本体色：アイボリー 使用上のお願い

本体やふた、ケトルは食品の色素によって色移りすることがあります。色移りを防ぐため、ケトルの中に調理物を長時間放置しないでください。本体やふたに付着した調理物はすぐにふき取ってください。

| 使用上のお願い

ご注意

- 取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

設置について

- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しない。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにする。(故障の原因)

調理前のご注意

- ふたの網(注ぎ口)が詰まっていないことを確認してから使用する。(けが・やけど・故障の原因)
→「お手入れ」15ページ
- 調理前に、本体とケトルのあいだにガタつきがないこと、ケトルが変形していないことを確認する。(異常発熱し、火災・故障の原因)
- ケトルや本体などに、食品かすなどの異物を付けたまま使用しない。ケトルに金属片が付着していないか確認し、付着している場合は取り除く。(異常発熱し、火災・故障の原因)
→「お手入れ」15ページ
- ケトルと本体のあいだに水などの液体を入れない。(故障の原因)

調理中・調理後のご注意

- 本体にケトルを載せたまま水や材料を入れる場合、本体を水などで濡らさないようにする。(故障・けが・やけどの原因)
- 調理中に水や材料を追加する場合、吹きこぼれないようにする。(けが・やけど・故障の原因)
- 調理中や調理の直後は、移動させない。(けが・やけどの原因)
- ケトル、本体が熱い状態でふたを開けるときは、高温の蒸気に注意する。(けが・やけどの原因)
- 沸騰し続け、空だきをさせない。(変色・変形・火災・故障の原因)
- 調理中、ケトルや本体にふきんなどをかけたままにしない。(変色・変形・火災の原因)

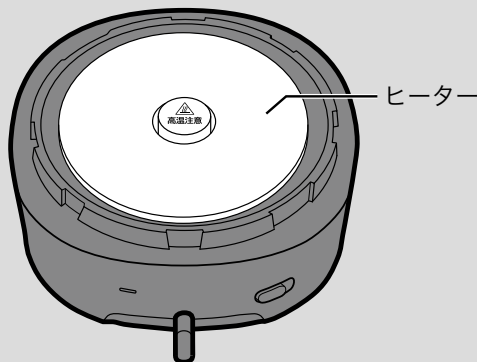


- 調理中・調理の直後は高温になるため、絶対にふた、ケトル、ヒーターには触らない。手や顔を近づけない。(やけどの原因)

- 調理後、本体に何かを置かない、覆わない。ヒーターはとても高温になるため、置かれた物の材質によっては火災の危険性があります。

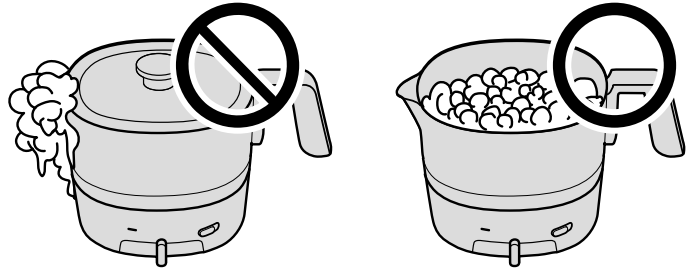
- 本体に磁石を近づけない。(誤動作の原因)

本体



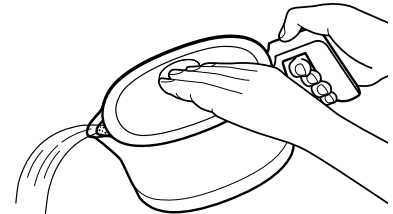
湯沸かし以外の調理について

- ケトルにふたをして調理をしない。
吹きこぼれないようにする。
(けが・やけど・故障の原因)
- 牛乳や豆乳を入れる調理をするとき、
みそ汁やとろみのある食品(カレーなど)
を加熱するときは、温度を低めに
して、かき混ぜながら温める。
(吹きこぼれや焦げつきにより、けが・
やけど・故障の原因)



ふたについて

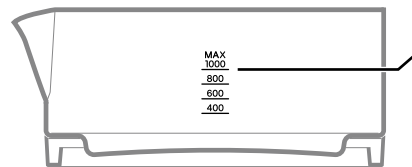
- 必ず手で押さえる。
ふたをしたままお湯を注いだり、ふたを使って麺などを湯切り
したりする場合は、ふたの浮きや網がずれていないかを確認し、
必ず手で押さえてお使いください。



必ずふたを手で押さえてください

調理量について

- ケトルの「MAX 1000」の線以上に、
水や食材を入れて使わない。
(けが・やけどの原因)



「MAX 1000」の
線まで
(1000 mlの目安)

調理禁止の食材について

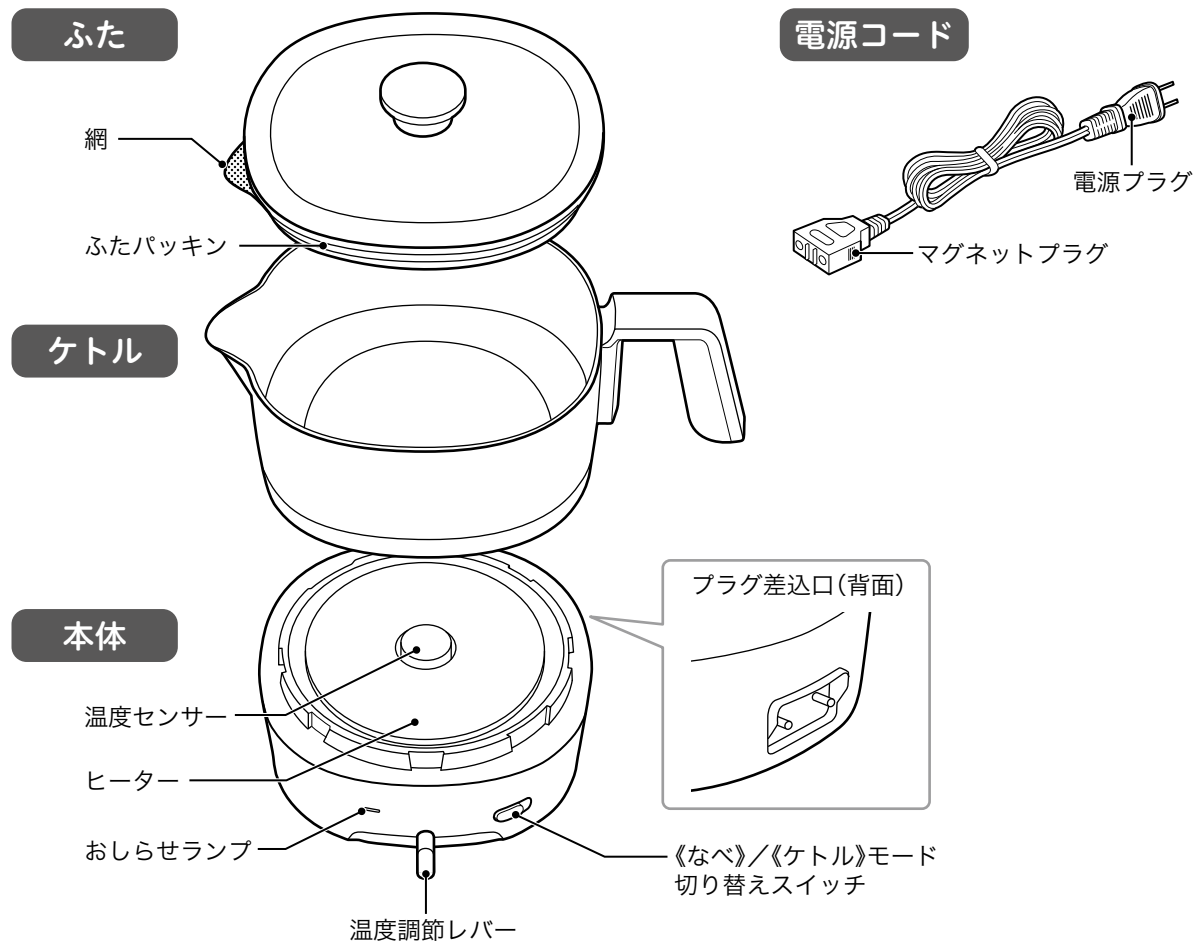
- 重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない。(やけど・故障の原因)
- 揚げ物・焼き物・炒め物をしない。(油を入れると高温になり、破損・故障の原因)

ケトルを長くお使いいただくために

ケトルのコーティングを傷つけないため、お守りください。

- ケトルで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしない。
- かたい食材を調理する際は、ケトルの内面に食材を押しついたり、強くかき混ぜたりしない。
- 金属製のヘラやおたまなどは使用しない。

各部のなまえ



ご注意

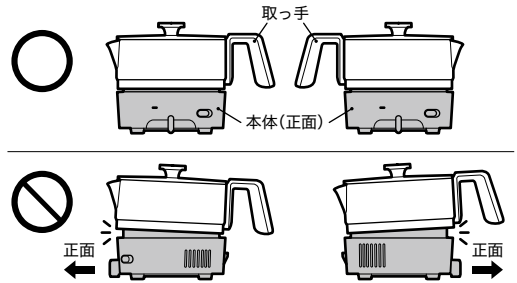
- ケトル底部に磁石が内蔵されています。磁気カードを近づけないでください。また磁力により金属片が付くことがありますので、使用前に金属片が付着していないか確認し、付着している場合は取り除いてください。

おしらせランプについて

- 消灯：電源OFF
- 赤点灯：加熱中(ケトルの温度が温度設定より低い場合)
- 緑点灯：保温中
なべモード使用中に保温をお知らせします。保温は60分経つと自動で切れ、おしらせランプも消灯します。
- ⦿ 緑点滅：加熱停止中(ケトルの温度が温度設定より高い場合)
- ⦿ 赤点滅：エラー (速い点滅：空だき/遅い点滅：加熱中にケトルを動かしたとき、温度調節レバーが「OFF」になっていない状態で電源コードをつないだとき)
エラーになると加熱が止まります。

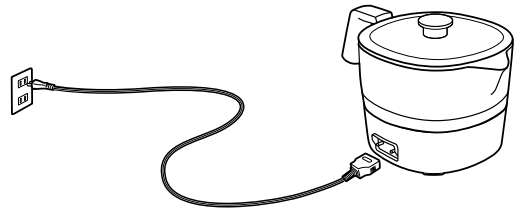
ケトルの向きについて

ケトルの取っ手は、本体正面に対して右か左に設置してください。取っ手を正面、または背面にしてケトルを設置すると、加熱がはじまりません。また、ケトルが不安定となるため危険です。



電源コードについて

温度調節レバーが「OFF」になっていることを確認し、電源コードを背面のプラグ差込口に接続します。



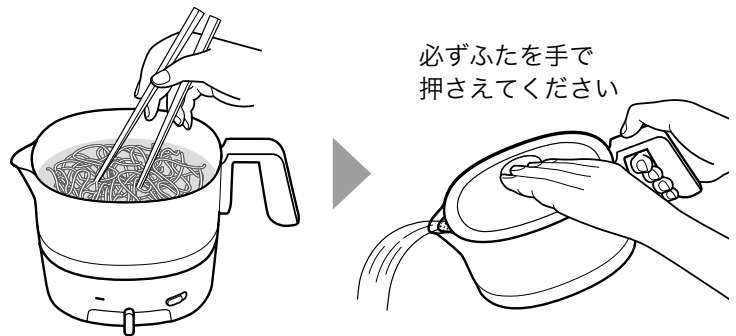
ご注意

- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ふたの使いかた

麺の湯切り

ふたの注ぎ口部分は網になっていますので、ふたをしたままで麺などの湯切りができます。



ご注意

- 麺を調理するときはふたをはずしてください。
- お湯を注ぐとき、麺を湯切りするときは必ずふたを手で押さえてください。
- ふたの浮きや網のズレがないことを確認してからお使いください。

ご使用の前に

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、ケトルやふたにほこりやごみなどが付着している可能性があります。「お手入れ」**15ページ**を参照してケトルやふたを洗浄してからお使いください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。

| 使いかた

本製品は、温度調節レバーで温度を調節することができます。お湯を沸かすケトルとして使ったり、調理するなべとして使ったりすることができます。調理例については、特設サイトのレシピをご覧ください。

➔「レシピについて」**14ページ**

▶ なべモードとケトルモードの違い

- **なべモード** : 設定した温度になると、自動的に60分間、設定した温度で保温します。調理を行う場合に適しています。
- **ケトルモード** : 設定した温度になると、加熱を停止します。保温は行いません。湯を沸かす場合に適しています。

おしらせ

湯沸かし、調理に関わらず、保温したいときはなべモード、保温しないときはケトルモードを選んでください。

▶ 空だき防止機能について

沸とうし続けて水分がなくなると、空だき防止機能が働き、おしらせランプが赤点滅(速い点滅)し、自動的に加熱が止まります。

ご注意

- 空だき防止機能が働いた場合は、必ず温度調節レバーを「OFF」の位置に戻してください。5分以上冷ましてからお使いください。
- 空だきをすると、変形・変色・故障の原因になります。

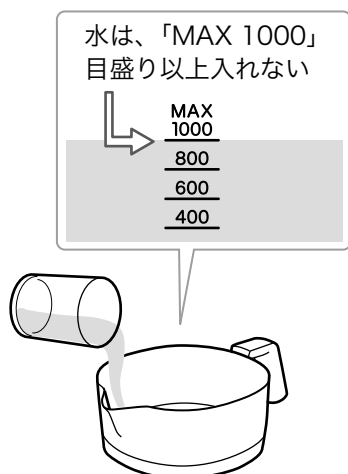
湯を沸かす

1

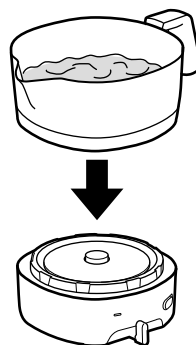
ケトルに水を入れ、本体に載せる

- 早くお湯を沸かす場合は、ふたをしてください。

①別の容器を使い、水を入れる



②ケトルを本体に載せる



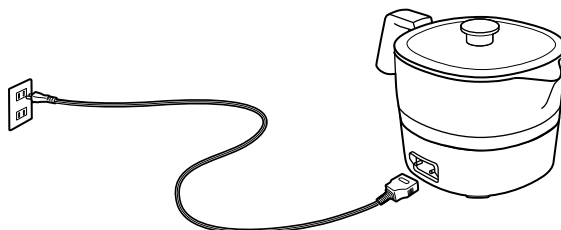
- ケトルと本体のあいだに水や異物が無いこと、ケトルと本体が水平になっていることを確認してください。
- ケトルの取っ手は、本体正面に対して右か左に設置してください。取っ手を正面、または背面にしてケトルを設置すると、加熱がはじまりません。

➔「ケトルの向きについて」**9ページ**

2

本体のプラグ差込口にマグネットプラグを取りつけて、電源プラグをコンセントに差し込む

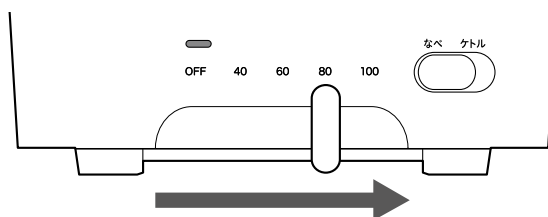
- ➔ 「電源コードについて」 **9ページ**
- ➔ 「電源コード・電源プラグについて」 **3ページ**



3

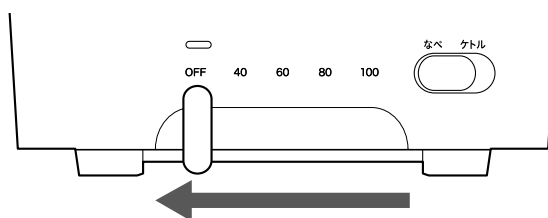
なべモードまたはケトルモードを選び、温度調節レバーを動かして温度を設定する

- 設定した温度になるとブザーが鳴ってお知らせします。なべモードのときはそのまま自動的に設定した温度を保ち続けます。保温は60分経つと自動で切れ、おしらせランプが消灯します。ケトルモードのときは、加熱を停止します。
- 加熱温度の設定は、40°Cから100°Cです。40°C未満は設定できません。



4

使い終わったら温度調節レバーを「OFF」にする



5

電源プラグ、マグネットプラグの順に抜く

ご注意

- 加熱中や加熱直後のヒーターは、とても高温です。やけどやけがの原因になるので完全に冷めるまでは絶対に触れないでください。
- 加熱直後のケトルの底は高温となるため、熱に弱いテーブルには直接置かないでください。加熱直後は鍋しきに載せることをおすすめします。
- 沸騰中、注ぎ口の付近は蒸気やお湯が飛び散ることがあります。手や顔、水気に弱いものを近づけないでください。けが・やけど・故障の原因になります。

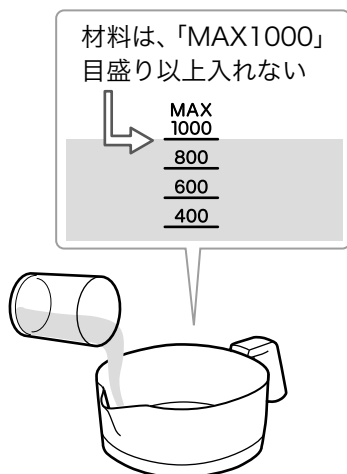
調理をする

1 ケトルに材料を入れ、ふたを開けて本体に載せる

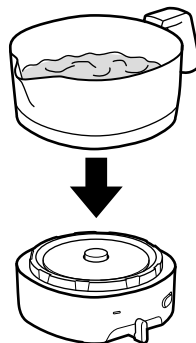
ご注意

- ケトルにふたをして調理をしないでください。吹きこぼれて、けが・やけど・故障の原因になります。

①別の容器を使い、材料を入れる



②ケトルを本体に載せる

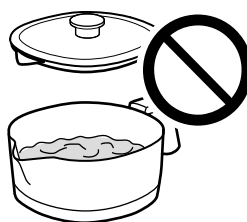


- ケトルと本体のあいだに水や異物が無いこと、ケトルと本体が水平になっていることを確認してください。
- ケトルの取っ手は、本体正面に対して右か左に設置してください。取っ手を正面、または背面にしてケトルを設置すると、加熱がはじまりません。

➡「ケトルの向きについて」9ページ

ご注意

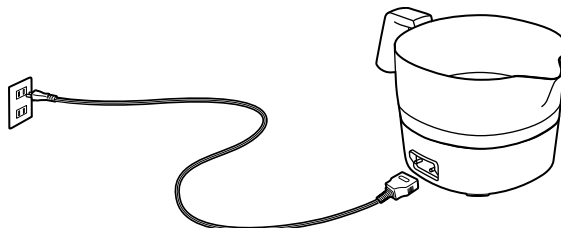
吹きこぼれないように、ケトルにふたをしないでください。



2 本体のプラグ差込口にマグネットプラグを取りつけて、電源プラグをコンセントに差し込む

➡「電源コードについて」9ページ

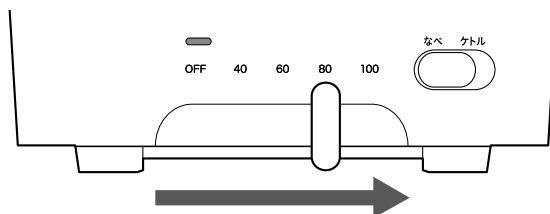
➡「電源コード・電源プラグについて」3ページ



3

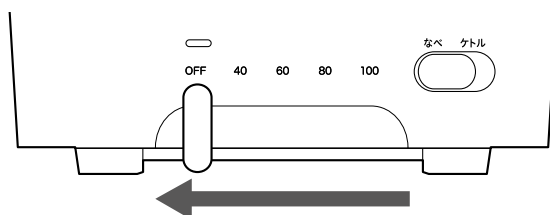
なべモードまたはケトルモードを選び、温度調節レバーを動かして温度を設定する

- 設定した温度になるとブザーが鳴ってお知らせします。なべモードのときはそのまま自動的に設定した温度を保ち続けます。保温は60分経つと自動で切れ、おしらせランプが消灯します。ケトルモードのときは、加熱を停止します。
- 加熱温度の設定は、40°Cから100°Cです。40°C未満は設定できません。



4

使い終わったら温度調節レバーを「OFF」にする



5

電源プラグ、マグネットプラグの順に抜く

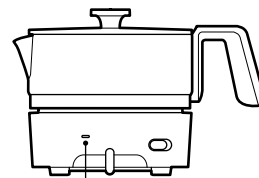
ご注意

- 加熱中や加熱直後のヒーターは、とても高温です。やけどやけがの原因になるので完全に冷めるまでは絶対に触れないでください。
- 加熱直後のケトルの底は高温となるため、熱に弱いテーブルには直接置かないでください。加熱直後は鍋しきに載せることをおすすめします。

| 使いかた

おしらせランプが点滅したときは

- **赤点滅(遅い点滅)：エラー (ケトル検知)**
加熱中にケトルを動かすと、エラーとなり、加熱が止まります。温めなおす場合は、温度調節レバーを「OFF」にして温度を設定しなおしてください。
- **赤点滅(速い点滅)：エラー (空だき)**
沸とうし続けて水分がなくなったり、連続して使用したりすると、ヒーターの温度上昇によりエラーとなり、加熱が止まります。温度調節レバーを「OFF」にして、5分以上冷ましてから使用してください。
- **緑点滅：加熱停止中(ケトルの温度が温度設定より高い場合)**
本製品の測温方式上のばらつきや使用環境などの条件により、実際の水温と誤差が生じる場合があります。



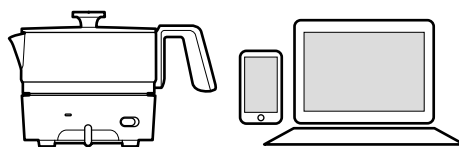
おしらせランプ

レシピについて

下記のURLや二次元コードから、本機の専用レシピをパソコンで調べることができます。また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。



おりょうりケトル ちょいなべ
専用レシピ特設サイト
www.siroca.co.jp/recipe/cookingkettle/



お手入れ

ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本製品が冷えてからお手入れをしてください。高温部に触れ、やけどの原因になります。
- 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体やヒーターに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- ケトル以外(ふた、本体)は食器洗い機や食器乾燥機を使用しないでください。部品が変形、故障の原因になります。

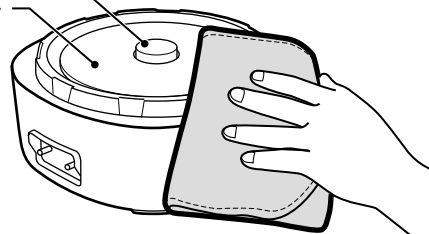
お手入れする

本体/ヒーター/温度センサー

やわらかいふきんで拭きます。

汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

温度センサー
ヒーター



ご注意

- 必ず、お手入れは冷えてから行ってください。高温部に触れ、やけどの原因になります。

ケトル/ふた

ケトルは食器洗い乾燥機で洗えます。ふたは、必ず手洗いしてください。

ケトル、ふたはお使いになるたびに必ず洗ってください。

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。スポンジはやわらかいものを使用してください。

▶ 保管するときは

十分に乾燥させ、ポリ袋などで密封し、虫やほこりなどが入らないようにして保管してください。

よくあるご質問

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 作動しない。沸騰前に止まってしまう。

A1 電源プラグが抜けていませんか。 > 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

A2 ケトルが本体に正しくセットされていますか。 > ケトルを本体の上に正しくセットしてください。
➡「ケトルの向きについて」**9ページ**

A3 温度調節レバーがOFFになっていませんか。 > 温度調節レバーをON（レバーが温度の位置に移動している状態）にしてください。

A4 ケトルおよび本体に金属片やごみが付着していませんか。 > いったん温度調節レバーをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてからケトルの底面やヒーターに付着している金属片やごみを取り除いてください。

A5 水が入っていない状態で温度調節レバーをON（レバーが温度の位置に移動している状態）にしていませんか。 > 水が入っていない状態で100°Cに設定して加熱すると、空だき防止機能が作動して、加熱を停止します。いったん温度調節レバーをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、ケトルと本体を5分以上冷ましてからお使いください。

A6 ケトルが変形していませんか。 > ケトルが変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

A7 調理後、連続して運転していませんか。 > 連続して調理する場合は、5分以上冷ましてください。

Q2 沸騰が止まらない。／沸騰してもすぐに電源が切れない。

A 本製品は、《なべ》モードにして設定した温度になると、ブザーが鳴り60分間設定温度を保ち続けます。

Q3 注ぎ口からお湯がふき出る。

A1 満水目盛(MAX 1000)以上の水を入れていませんか。 > 水は満水目盛(MAX 1000)以下にしてください。

A2 水以外を調理するとき、ふたを閉めていませんか。 > 水以外を調理するとき、必ずふたを外して調理してください。

Q4 湯沸かし中の音がいつもより大きい。

A ケトルの内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。

水アカなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。ケトルはお使いになるたびに必ず中性洗剤で洗ってください。汚れがひどい場合はクエン酸洗浄を行ってください。

Q5 ふたが閉まらない。

A1 ケトルの外側、ふた、パッキン、枠などに食品かすなど、異物が付着していませんか。

異物を取り除いてください。

A2 ケトルが変形していませんか。

ケトルが変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q6 お湯を沸かすとプラスチック臭がする。

A 使い始めのうち、ふたのプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちにはおいは少なくなります。気になる場合は1～2回お湯で洗浄してからお使いください。

Q7 ヒーターやケトルの底の色が変わった。

A 熱が加わることで色が変わりますが、製品の異常ではありません。

Q8 調理の途中や保温中に、おしらせランプが赤点滅(速い点滅)する/消灯する

- A
- 牛乳や豆乳を高い温度で温めると、焦げつきによってケトル底面の温度が上昇するため、空だき防止機能が働いて加熱が止まり、おしらせランプが赤点滅(速い点滅)することがあります。牛乳や豆乳を入れる調理をするとき、みそ汁やとろみのある食品(カレーなど)を加熱するときは、温度を低めにして、かき混ぜながら温めてください。
 - 冷凍食材をケトルの底面中央に密着させたり、ケトルと本体が水平になっていない状態や異物が挟まった状態で使用したりすると、温度センサーがケトル底面の温度を正しく検知しないため、安全装置が働いて加熱が止まり、おしらせランプが消灯することがあります。ヒーターが高温になりすぎるとのを防ぐためであり、故障ではありません。温度調節レバーを「OFF」にして、5分以上冷ましてから使用してください。

ご注意

- ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、温度調節レバーを「OFF」にして調理を中止し、電源プラグを抜いてください。

| 仕様

品名(型番)	おりょうりケトル ちょいなべ(SK-M251)
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	1200 W
質量(約)	1.8 kg
外形寸法(約)	幅28 cm ×奥行20 cm ×高さ19 cm
電源コードの長さ(約)	1.8 m
調理容量	1 L
温度過昇防止装置	空だき防止機能、温度ヒューズ
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店、またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品・消耗品は専用のものをお使いください。

部品名	部品コード
ケトル(黒)	SK-M251KB
ケトル(アイボリー)	SK-M251KW
ふた(黒)	SK-M251LB
ふた(アイボリー)	SK-M251LW
電源コード	SK-M251DC

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年です。

その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：おりょうりケトル ちょいなべ
型番：SK-M251
保証期間：お買い上げ日より本体1年間
お買い上げ日： 年 月 日
製造番号：
販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。

ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。

なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
- (6) 本書のご提示がない場合。
- (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
- (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
- (9) 腐食による故障、及び損傷。
- (10) 消耗部品の交換。
- (11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。

2. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。

3. 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。

4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19100012

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

よくあるご質問やメールでのお問い合わせはこちらをご覧ください。



<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入についてはこちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：10:00～17:00

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。